

## ファンドの目的

日本を含む世界の株式を現実的な主要投資対象とし、主として値上がり益の獲得をめざします。

## ファンドの特色

- 主として日本を含む世界のサイバーセキュリティ関連企業\*の株式に投資を行います。
  - 株式等への投資にあたっては、サイバーセキュリティの需要拡大および技術向上の恩恵を享受すると考えられる企業の株式の中から、持続的な利益成長性、市場優位性、財務健全性、株価水準等を考慮して組入銘柄を選定します。
  - 株式等の組入比率は高位を維持することを基本とします。
    - \*当ファンドにおいては、サイバー攻撃に対するセキュリティ技術を有し、これを活用した製品・サービスを提供するテクノロジー関連の企業等をいいます。
    - ※実際の運用はサイバーセキュリティ株式マザーファンドを通じて行います。
- 株式等の運用にあたっては、アリアンツ・グローバル・インベスターズ・ユーエス・エルエルシーに運用指図に関する権限を委託します。
  - アリアンツ・グローバル・インベスターズ・ユーエス・エルエルシーは金融グループであるアリアンツ・グループの一員であり、テクノロジー株式の運用戦略について豊富な経験を有する資産運用会社です。
  - ※運用の指図に関する権限の委託を受ける者、委託の内容、委託の有無等については、変更する場合があります。
- 為替ヘッジの有無により、(為替ヘッジあり)、(為替ヘッジなし)が選択できます。
  - (為替ヘッジあり)は、実質組入外貨建資産について、原則として為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減をはかります。なお、為替ヘッジが困難な一部の通貨については、当該通貨との相関等を勘案し、他の通貨による代替ヘッジを行う場合があります。
  - 為替ヘッジを行う場合で円金利がヘッジ対象通貨の金利より低いときには、これらの金利差相当分のヘッジコストがかかることにご留意ください。なお、為替市場の状況によっては、金利差相当分以上のヘッジコストとなる場合があります。
  - (為替ヘッジなし)は、実質組入外貨建資産について、原則として為替ヘッジを行いませんので、為替相場の変動による影響を受けます。
- 年1回の決算時(6月6日(休業日の場合は翌営業日))に分配金額を決定します。
  - 分配金額は委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。

分配金額の決定にあたっては、信託財産の成長を優先し、原則として分配を抑制する方針とします。(基準価額水準や市況動向等により変更する場合があります。)

将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。

## 投資リスク

基準価額の変動要因:基準価額は、株式市場の相場変動による組入株式の価格変動、為替相場の変動等により上下します。また、組入有価証券等の発行者等の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の影響を受けます。これらの運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみさまに帰属します。したがって、投資者のみさまの投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。主な変動要因は、価格変動リスク、特定のテーマに沿った銘柄に投資するリスク、為替変動リスク、信用リスク、流動性リスク、カントリー・リスクです。上記は主なるリスクであり、これらに限定されるものではありません。くわしくは、投資信託説明書(交付目録見書)をご覧ください。

## ファンドの費用

### ■お客さまが直接的に負担する費用

購入時 手数料	購入金額に対して、 <b>上限3.30%(税込 3.00%)</b> 販売会社が定めます。くわしくは、販売会社にご確認ください。
換金時 信託財産 留保額	<b>ありません。</b>

### ■お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用 (信託報酬)	各ファンドの日々の純資産総額に対して、 <b>年率1.870%</b> <b>(税込 年率1.700%)</b> をかけた額
保有期間中 その他の費用・ 手数料	以下の費用・手数料についても各ファンドが負担します。 ・監査法人に支払われる各ファンドの監査費用 ・有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料 ・有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用 ・その他信託事務の処理にかかる諸費用等 ※上記の費用・手数料については、売買条件等により異なるため、あらかじめ金額または上限額等を記載することはできません。

※運用管理費用(信託報酬)および監査費用は、日々計上され、各ファンドの基準価額に反映されます。毎計算期間の最初の6ヵ月終了時、毎決算時または償還時に各ファンドから支払われます。  
※上記の費用(手数料等)については、保有金額または保有期間等により異なるため、あらかじめ合計額等を記載することはできません。なお、各ファンドが負担する費用(手数料等)の支払い実績は、交付運用報告書に開示されていますのでご参照ください。

## 本資料で使用している指数について

### ■世界株式:MSCI オールカンントリー・ワールド・インデックス

MSCI オールカンントリー・ワールド・インデックスとは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の先進国・新興国の株式で構成されています。同指数に対する著作権およびその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

## 本資料に関するご注意事項等

■本資料は三菱UFJ国際投信が作成した情報提供資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しの最新の投資信託説明書(交付目録見書)の内容を必ずご確認ください。ご自身でご判断ください。■本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。■投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。銀行等の登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の補償の対象ではありません。■投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。

## 販売会社(購入・換金の取り扱い等)

販売会社は右記の三菱UFJ国際投信の照会先でご確認いただけます。

## 設定・運用は



三菱UFJ国際投信

三菱UFJ国際投信株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号  
加入協会:一般社団法人投資信託協会  
一般社団法人日本投資顧問業協会

お客さま専用  
フリーダイヤル **0120-151034**  
(受付時間:営業日の9:00~17:00)

●ホームページアドレス: <https://www.am.mufj.jp/>

※本資料はサイバーセキュリティ株式オープン(為替ヘッジあり)/為替ヘッジなし)をつみたて投資した場合の購入単価がならされる「つみたて投資」の効果についてご理解いただくために概略を記載したものです。このため、ファンドの商品性、リスク、お申込みメモなどについては投資信託説明書(交付目録見書)をご確認いただく必要があります。

サイバーセキュリティ株式オープン(為替ヘッジあり)「為替ヘッジあり」、サイバーセキュリティ株式オープン(為替ヘッジなし)「為替ヘッジなし」ということがあります。また、これらを総称して「当ファンド」ということがあります。

ファンド情報提供資料

データ基準日:2020年2月末

## 追加型投信/内外/株式

# サイバーセキュリティ株式オープン(為替ヘッジあり)/(為替ヘッジなし)



2018年・2019年 **2年連続** 優秀ファンド賞 受賞  
サイバーセキュリティ株式オープン(為替ヘッジなし)

Morningstar Award "Fund of the Year 2019"  
国際株式型(特定地域)部門  
Morningstar Award "Fund of the Year 2018"  
国際株式型(グローバル除く日本)部門

当賞は国内追加型株式投資信託を選考対象として独自の定量的分析、定性分析に基づき、2019年、2018年において各部門別に総合的に優秀であるとモーニングスターが判断したものです。国際株式型(特定地域)部門は、2019年12月末において当該部門に属するファンド719本の中から選考されました。国際株式型(グローバル除く日本)部門は、2018年12月末において当該部門に属するファンド926本の中から選考されました。  
\*Morningstar Award "Fund of the Year 2019"、"Fund of the Year 2018"は過去の情報に基づくものであり、将来のパフォーマンスを保証するものではありません。また、モーニングスターが信頼できると判断したデータにより評価しましたが、その正確性、完全性等について保証するものではありません。著作権等の知的財産権その他一切の権利はモーニングスター株式会社並びにMorningstar, Inc.に帰属し、許可なく複製、転載、引用することを禁じます。

※当該評価は過去の一定期間の実績を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。

動画で  
わかりやすい

つみたて早わかり  
MOVIE

公開中!

## 「為替ヘッジなし」にファンド設定日から毎月つみたて投資した場合

【毎月1万円】

(2020年2月末現在)



【毎月5万円】



【毎月10万円】

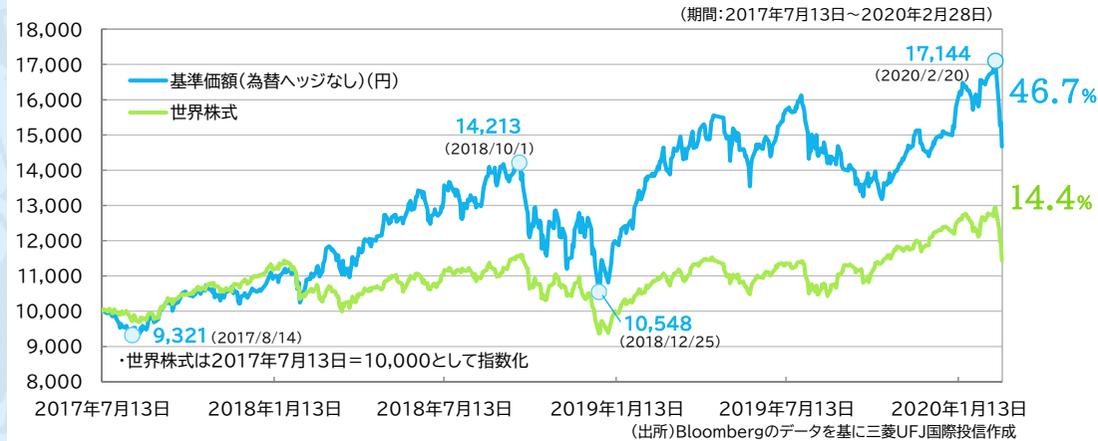


・シミュレーションは、当ファンドの設定日の月末から毎月末に1万円、5万円、10万円ずつつみたて投資をした場合(最終月を除く)の概算値をつかんでいただくために作成したものです。・毎月末の「為替ヘッジなし」の基準価額を使用しています。なお、税金は考慮せず、購入時手数料(3.30%)を考慮して計算しています。・あくまで過去の値を用いたシミュレーションであり、将来の運用成果を保証するものではありません。・つみたて投資は運用状況によっては投資元本を割り込むケースがあります。特定の投資対象が値上がり続ける場合、もしくは値下がり続ける場合には、つみたての効果が得られないことがあります。・表示桁未満は四捨五入して表示しています。・動画は一定期間経過後、予告なく削除されることがあります。

## 「為替ヘッジなし」の運用実績は設定来で良好なパフォーマンス

- 世界のサイバーセキュリティ関連企業の株式に投資を行う「為替ヘッジなし」の基準価額は設定来で上昇し、良好なパフォーマンスですが、値動きが大きいので投資タイミングに悩まれる方もいると思います。(図①ご参照)
- 一括投資は安値で購入し高値でうまく売却できれば大きな利益を得ることができますが、高値で購入し安値で売却して大きな損失を被る可能性もあります。(図②ご参照)

### 「為替ヘッジなし」の基準価額と世界株式の価格推移(図①)



### 「為替ヘッジなし」の基準価額が最も上昇・下落した局面(図②)

設定来の最安値(2017年8月14日)  
から最高値(2019年7月29日)



83.9%上昇

設定来、最も下落した局面の最高値(2018年10月1日)  
から最安値(2018年12月25日)



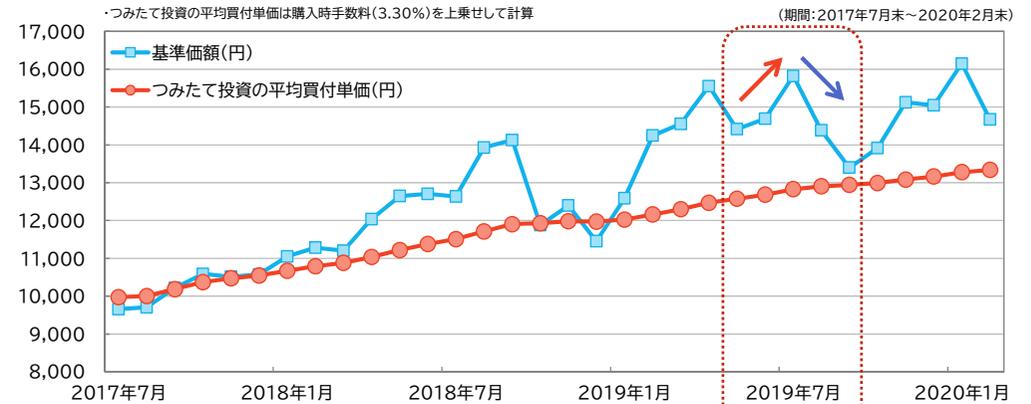
25.8%下落

・世界株式は、「為替ヘッジなし」の基準価額の算出基準日に対応する現地時間に基づき記載しております。・世界株式は指数を使用しており、ファンドの運用実績を示すものではありません。指数については【本資料で使用している指数について】をご参照ください。なお、指数は米ドルベースの指数を使用しており三菱UFJ国際投信が円換算しています。上記の指数は当ファンドのベンチマークではありません。また、上記の指数は世界株式の値動きを説明するために表示しています。・表示桁未満は四捨五入して表示しています。

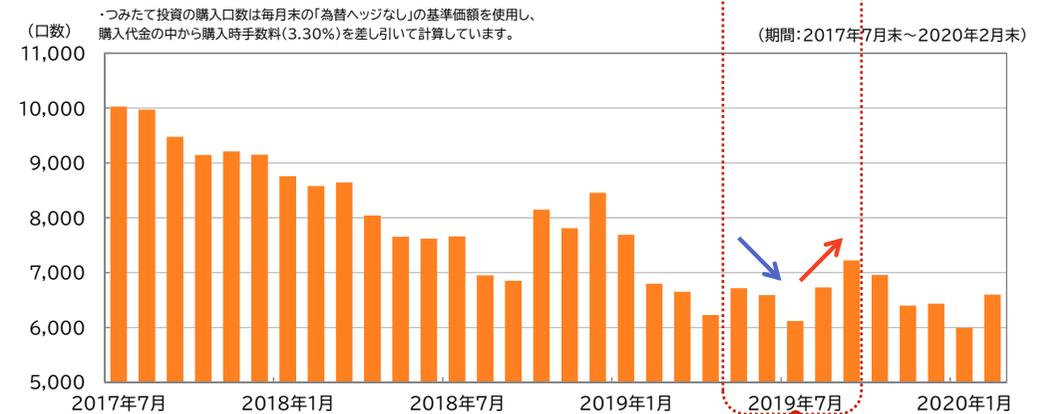
## 購入価格がならされる「つみたて投資」

- 毎月一定額を買い付ける「つみたて投資」では、基準価額が高い局面では口数を少なく、安い局面では口数を多く購入でき(図③④ご参照)、その買付単価は平均値となります(図③ご参照)。
- なお、図③では32カ月のうち、27カ月で基準価額はつみたて投資の平均買付単価を上回り、含み益を保ちながらつみたて投資を継続できたという試算となっています。

### 「為替ヘッジなし」に毎月末につみたて投資をした場合の平均買付単価(図③)



### 「為替ヘッジなし」をつみたて投資で毎月1万円ずつ購入した場合の購入口数(図④)



- つみたて投資のポイントは、
- 基準価額が高ければ購入口数が減少
  - 基準価額が安ければ購入口数が増加

例えば、2019年5月末から7月末までは基準価額が上昇傾向にあったため、購入口数は減少傾向となりました。その後、2019年7月末から9月末までは基準価額が下落傾向にあったため、購入口数が増加傾向となりました。

・本資料では、サイバーセキュリティ株式オープン(為替ヘッジなし)を代表的なファンドのデータとして掲載しています。・「為替ヘッジなし」の基準価額(1万口当たり)は、運用管理費用(信託報酬)控除後の値です。また、税金を考慮していません。「為替ヘッジあり」の基準価額の推移は月報をご参照ください。・シミュレーションは、毎月末につみたて投資をした場合(最終月を除く)の効果についてご理解いただくために作成したものです。あくまで過去の値を用いたシミュレーションであり、将来の投資成果を保証するものではありません。・つみたて投資は運用状況によっては投資元本を割り込むケースがあります。・上記は、過去の実績・状況または作成時点での見直し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。

【本資料に関するご注意事項等】の内容を必ずご覧ください。